

はじめに

8月1日（金）第1回 学校運営協議会 開催！



令和7年8月1日（木）、北海道余市養護学校において、委員の方や教職員が集まり、第1回学校運営協議会が開催されました。

当日は、学校から、令和7年度の学校経営方針やグランドデザイン、学校運営協議会のテーマなどについて説明がありました。その後の熟議では、地域との連携や情報発信のあり方について活発な意見交換が行われました。

会場は真剣かつ和やかな雰囲気、児童生徒の未来を地域とともに育てていくための多くのアイデアが出されました。

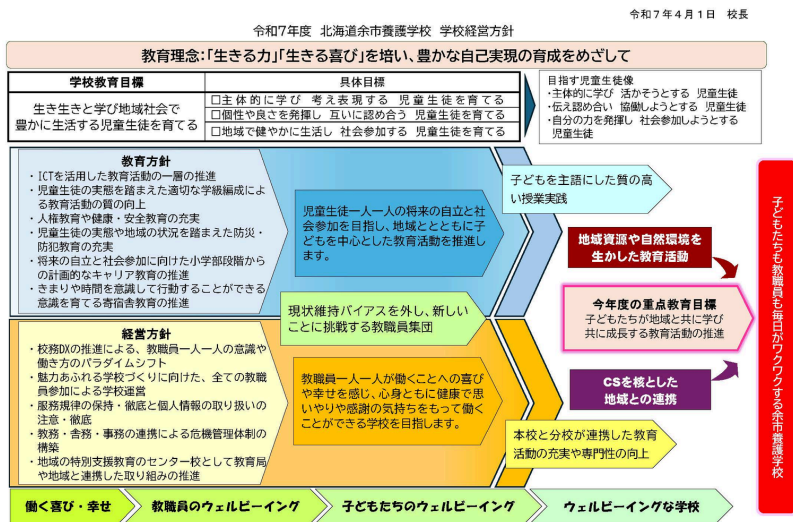
説明

今年の学校経営方針とグランドデザイン

令和7年度の学校経営方針及びグランドデザインについて、学校長から説明がありました。

今年度の重点教育目標は、「子どもたちが地域とともに学びともに成長する教育の推進」です。学校教育目標及び重点教育目標の達成を目指し、今年度の学校経営方針及びグランドデザインを作成しています。

今年度は、「子どもたちも教職員もウェルビーイングな学校」を目指し、これまでの「あたりまえ」を見直したり、「働き方改革」に本気で取り組んだりしながら、教育活動を進めてまいります。



熟議

地域と学校のWINWINな関係

テーマ「地域と学校がWIN WINになる関係作りを目指して～学校と地域ができること、やってみたいこと、やってほしいこと～」

今年度の学校運営協議会熟議のテーマは、「地域と学校がwinwinになる関係作りを目指して」です。

第1回の熟議では、テーマを踏まえ、「学校と地域ができること、やってみたいこと、やってほしいこと」と題し、3グループに分かれて運営協議会委員の方と教職員がともに意見を出し合いました。

様々な意見が飛び交い、「なるほど～」「それいいね～」「やってみたいね～」という言葉も多く聞かれ、白熱した熟議となりました。

熟議で出された意見については、裏面に掲載します。



交流・連携・広報

- 交流:
 - 町内の小中高生との交流
 - 余市紅志高校ボランティア部との交流
 - 地域住民が学校の行事を見学する機会を設ける
 - 教職員や保護者も交えた懇談会や親睦会を行う。
 - オンラインも活用し、対面での交流を増やす
- 連携と活動:
 - 学校祭や行事を公開し、地域の人に学校を知ってもらう
 - 地域団体への協力や、児童生徒ができる仕事の委託
 - 地域資源活用バンクと協力の企画
 - 教職員も参加し、連携から協働へと関係を進化させる
 - 地域からの作業活動の依頼
- 広報:
 - 余市公式LINEやパンフレットを活用して情報を発信する
 - 寄宿舍の認知度向上を図る
 - 活動内容を発信し、それに対するリアクションを促す



地域資源の活用

- 人材:
 - 地域の方をゲストティーチャーとして授業に招く
 - 海上自衛隊や国会議員、町長などとの交流機会
 - 余市の忍者など、ユニークな人材との交流・体験
- 施設・場所:
 - 果樹園での体験や、温泉、プール、スキー場などの活用
 - アート作品を展示できる場所の確保
 - 地域のお祭りに参加する
 - 卒業生が働ける場所を作る
- 物資・その他:
 - 余市の食材を使った食育
 - 児童生徒が作ったものを販売したり、プレゼントしたりする
 - コンピューターのサポート

課題解決とサポート

- 移動手段:
 - イベント参加や校外学習時のバス利用
 - 体験学習の際の移動手段の問題解決
- ボランティア:
 - 行事の見守りや、子どもの補助を行うボランティア
 - 地域や町内の小中学校と連携し、独居老人の除雪ボランティアを実施する
- 災害時支援:
 - 地域合同の避難訓練
 - 災害時の応援態勢を整える
- その他:
 - 卒業後の日中活動の預かりボランティア
 - 子どもたちがお互いに外部研修や見学に行く

委員の方から

運営協議会委員のみなさまから一言

学校運営協議会委員の皆様からご助言をいただきました。

- 地域や市内の学校との協力体制を拡大し、交流を進化させることが重要ではないか。
- 学校の方向性は正しい。その上で、「巻き込み型」で取り組みを広げていくべき。
- 提案された具体的な活動を反映し、地域との多面的な交流を拡大していくことを希望する。
- 交流を進化させ、学校の存在感を発信することが急務である。
- 広報を町の公式LINEや新聞を活用して強化するとよいのではないか。
- 学校間交流を地域活動に広げ、児童生徒が目に見える形で地域貢献する新しいモデルを提案する。
- 地域企業や団体が卒業生の就労先を提供するマッチング支援など、具体的な活動を提案する。

最後に

学校長から

貴重なご意見ありがとうございました。こんなことができたらいいなと本当に感じた意見がたくさんございました。ひとつひとつできそうなことから取り組んでいきたいと思えます。

また、情報発信という部分では、今の時代、ホームページを見る人が少なくなっていると思っています。SNSをはじめ、様々な方法を活用しながら本校を発信していけたら良いかなと考えております。

本日はありがとうございました。

余市養護学校公式キャラクター

本校の情報発信強化の一環として、公式キャラクターのデザインを児童・生徒に募集し、応募があったデザインについて、コミュニティスクールに参加された方に投票をお願いしました



リップルさん



はっぴるくん